

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	クロニック・パラノイア	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：CHRONIC PARANOIA**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：PARANOIA**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

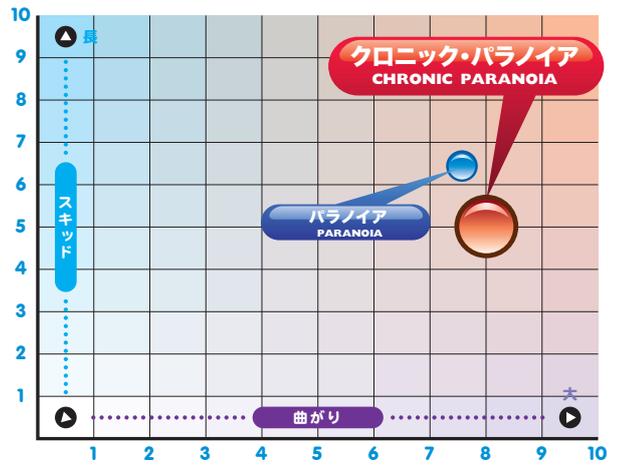
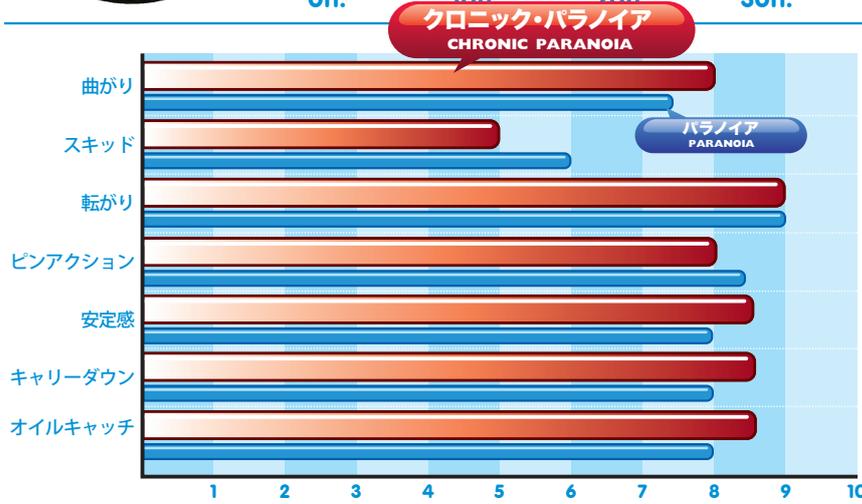
PAPからピンとの距離 **5** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

2016年3月、MOTIV社は強烈なBackend motionなボールを求めPARANOIAを発表しました。Agtator CoverStockというOCTANEに使用されていたAgility CoverStockの進化と強化されたCoverは、オイルキャッチを強めながらもOCTANEに見られたSkidを保ち、ドライゾーンで急激にグリップする特性を持っています。新開発のOblivion Coreとも相性もあり、キレ過ぎる印象を持たれたユーザーが多く、暴れる性能のボールだと思われた方も多いでしょう。今回のChronic ParanoiaはCoverStockをAgitator Pearl CoverStockからAgitator Solid CoverStockにすることで、同じMidiumの対応領域は変わりませんが、レーンヘッドからのキャッチを強めることで、曲がり始めから曲がり具合まで、Oblivion Coreの特性を残しながらも実用性の高さを重視したSpecに仕上げてきたというのが第一印象です。

ParanoiaとChronic Paranoiaを比較投球してみると根本的にCoverStockの差が両者には現れます。ParanoiaはBackendのキレ、所謂LATE HOOKをコンセプトしていますので走り重視したPearl素材、Chronic ParanoiaはMid Laneからの動だしを意識したDEYAED HOOKがコンセプトなのでSolid素材。各々コンセプトは異なり印象も変わりますが、Paranoiaが暴れる性能な故に、表面の光沢を落として落ち着かせる加工をチョイスするユーザーが多かったことを考えると、このChronic Paranoiaの実用性の高いことは想像できるでしょう。ZORZAとFORZA RED LINEと同じように、結果は「どちらのボールがスコアメイクしやすいか」ということが求められるでしょう。MOTIV社のSolid素材ならではのMid Laneでの安定感とパワーを継続する強い曲がり。Oblivion CoreのMotion Potentialがまた新たな伝説を作り上げます。

### 特記事項

**Agitator PearlからAgitator Solid CoverStockに変わることParanoiaの印象を残しつつもMid Laneからの動き出しの安定感を加えたSpec.Midiumコンディション中心なので、JACKAL LEやTRIDENTのあとに使いやすいです。**